

福祉目標：すべての市民で支えあう福祉のまちづくり

～つなく・つながる・つなぎあう～

あったかハート

No.339

平成28年5月1日発行



屋外での声かけ訓練(九会校区)



グループ発表(山枝町)



グループ発表(下若井町)



社協職員による寸劇(横尾)

地域での見守り活動



子どもを交えた寸劇(芝自治区)



住民による寸劇(油谷町)

あったか声かけ
作戦の詳細は4
ページへ

あったか声かけ作戦



住民による体験談(日吉校区)



住民による寸劇(王子町)



駐在さんからのアドバイス(山下東町)



グループワーク(殿原町)

発行：社会福祉法人 加西市社会福祉協議会

〒675-2303 加西市北条町古坂1072番地の14
(加西市健康福祉会館内)

☎ 0790-42-8888 FAX 0790-42-6655

URL: <http://www.kasai-syakyo.com/>

あったかハートは、
共同募金配分金の一部で
発行しています。



もくじ

- P2 平成28年度事業計画・予算
- P3 社協会費、善意月間、事務局体制
- P4 あったか声かけ作戦・常吉町ふれあいいきいきサロン
第5次加西市社協地域福祉推進計画の評価
- P5 ラヴィ介護ネット
- P6～7 加西市ボランティア・市民活動センター情報
- P8 善防園だより、善意銀行だより、相談日のご案内

平成28年度 事業計画及び予算

加西市社会福祉協議会では、「すべての市民で支えあう福祉のまちづくり」を基本理念に、当協議会が持つ組織力(あったかシステム)を活かし、個々が生き生きと生活していくことができるような『支援の輪』を住民に広げ、誰もが支え・支えられる社会を実現するには官民協働で取り組んでいくことが重要であると考えています。

その具体事項は下記の通りです。

- ① 互助・共助の精神がより多くの市民に根付くよう福祉学習や福祉懇談会の機会を確保し、福祉や支えあいに関心と理解が高まる取り組みを進める。
- ② 一人で抱え込まず地域の課題として住民が主体的に協議し、協働しながら解決できるよう地域の多様な団体の参加を促す。
- ③ 障がいのある人もない人も皆が支えあい、共に暮らしていける地域づくりを目指す。
- ④ 社会参加しづらい方(高齢者・障がい者(児)・認知症、生活困窮者等)への支援をする。
- ⑤ 生活圏域での多様な支援を実現するネットワークの構築をする。

今後も、住民の皆さまと共に地域福祉の向上と推進に努めて参りますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

勘定科目		当初予算(単位:千円)	構成割合
収 入	会費収入(社協会費・団体特別会費)	6,276	1.46%
	寄附金収入(善意銀行)	4,442	1.04%
	経常経費補助金収入(市補助金・県社協補助金・共同募金配分金)	46,231	10.79%
	受託金収入(市受託金・県社協受託金)	165,555	38.63%
	貸付事業収入(市社協貸付金償還金)	265	0.06%
	事業収入(配食サービス・転倒予防教室ほか)	6,055	1.41%
	介護保険事業収入	125,864	29.37%
	就労支援事業収入	4,260	0.99%
	障害福祉サービス等事業収入	28,057	6.55%
	医療事業収入	22,275	5.20%
	その他の事業収入	1,512	0.35%
	受取利息配当金収入	25	0.01%
	その他の収入	959	0.22%
	拠点区分間繰入金収入	7,000	1.63%
	サービス区分間繰入金収入	3,142	0.73%
その他の活動による収入	6,594	1.56%	
収入合計		428,512	100.00%
支 出	人件費支出	313,758	70.89%
	事業費支出	36,293	8.20%
	事務費支出	45,987	10.39%
	就労支援事業支出	4,260	0.96%
	貸付事業支出	250	0.06%
	分担金支出	32	0.01%
	助成金支出	14,504	3.28%
	負担金支出	47	0.01%
	その他の支出	513	0.12%
	固定資産取得支出	1,176	0.27%
	積立資産支出	17	0.01%
	拠点区分間繰入金支出	7,000	1.58%
	サービス区分間繰入金支出	3,142	0.70%
	その他の活動による支出	15,617	3.52%
支出合計		442,596	100.00%
当期資金収支差額合計		△ 14,084	
前期末支払資金残高		138,684	
当期末支払資金残高		124,600	

※ 3月に開催した理事会・評議員会で可決いただきました。

地域福祉を支える社協会費



◆社会福祉協議会（社協）とは？

都道府県とすべての市区町村に1つ設置が認められている民間の福祉団体で、社会福祉法によって「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と位置づけられています。

◆社協会費の使い道は？

社協会費は、主に社協の法人運営管理費として活用しています。社協の事業を進めていく中において、皆さまから納められた会費は貴重な財源となっています。また会費は、社協事業や地域福祉の活動資金として、市民の皆さまのもとへ還元しています。

加西市社会福祉協議会では、5月に各町区長さまを通じて、1世帯500円の会費をお願いしています。市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。また、賛助会員も募集しています！

平成27年度実績 戸別会費:6,163,500円 特別会費:120,000円

☆戸別会費…一世帯500円

☆賛助会員…一口3,000円

☆特別会費(福祉関連施設)…10,000円

6月は「善意月間」です

兵庫県では昭和38年6月1日に兵庫善意銀行が設置されたのを記念して、この日を『善意の日』と定めています。「毎年、この日を中心に“みんなの善意で明るい社会”をスローガンに6月を善意月間」として預託をお願いしています。

ピンク色の『善意の預託金袋』を各町区長さまから皆さまの家庭へお配りいただきますので、皆さまの温かい心を預託としてご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

◆善意の記念預託金の使い道（平成27年度預託金実績：7,254件 2,367,933円）

○支えあう福祉のまちづくり推進事業

- ・高齢者外出支援（タクシー初乗り運賃助成）事業
- ・はつらつ委員会 ・いきいき委員会 ・ふれあいいきいきサロン

○心配ごと相談事業

- ・法律相談 ・心配ごと相談

○成人式記念贈呈事業

○おめでとう赤ちゃん出生お祝い事業



平成28年度 加西市社会福祉協議会 事務局体制のお知らせ

理事長 衣笠勝弘 副理事長 下村義明・山下公明 常務理事 松尾 修
事務局 長 大藤由美 参事 中井一仁

(28年4月1日付)

総務課

- 課長(事務局長兼務)
- 課長補佐 大村教道
- ・法人運営、社協会費、善意銀行、あったかハート発行

地域福祉課

- 課長(事務局長兼務)
- 地域支援係長 中村智子 権利擁護係長 岡田美佳
- ・小地域福祉活動(はつらつ委員会、いきいき委員会他)
- ボランティア・市民活動センター、一時相談窓口等

加西市共同募金委員会

- 会長(理事長)
- 事務局 長(事務局長兼務)
- ・共同募金、歳末募金

職員数

※正規職員	19人
※嘱託職員	19人
※非正規職員	76人
合計	114人

加西市地域包括支援センター

- センター長 (参事兼務)
- 副センター長 金鹿郁美
- ・包括的支援事業(介護予防ケアマネジメント事業、総合相談・支援事業、権利擁護事業等)

総合介護センター

- 所長 黒田ますみ
- 係長 前田玲子
- ラヴィかさい居宅介護支援センター
- ラヴィかさい訪問看護ステーション
- ラヴィかさいホームヘルパーステーション
- ラヴィかさい訪問入浴ステーション
- ラヴィかさい相談支援センター(障がい者・児)
- ・介護保険事業・障害福祉・地域生活支援事業

加西市立善防園

- 園長 岩崎寿晴
- 副園長 松田真由美 係長 石原雅紀
- ・生活介護、就労継続支援B型

★当法人の理念、社協の使命を果たすため
第5次地域福祉推進計画を遂行し
健全な経営・運営に努めます。

あったか声かけ作戦

(認知症サポーター養成と声かけ訓練)



平成27年度から社会福祉協議会が9地区はつらつ委員会に呼びかけ、「あったか・声かけ作戦」を2地区8町で実施いたしました。目的は、認知症という病気について理解を深めていただきながら、困られている方に気づき、さりげなく「声をかける」ポイントを学んでいただくことでした。

その内容としては、認知症サポーター養成講座、住民や社協職員による寸劇、グループワーク、発表が基本で、九会地区は屋外での声かけ訓練、日吉地区、油谷町では体験談などの発表がありました。

住民同士が話をする場が少なくなっている中、あったか声かけ作戦に参加した住民同士が顔を合わせ話し合うことで心の「和」、人の「輪」が生まれ、安心・安全な町づくりに繋がる事業として期待できます。



地域の仲間づくり・居場所づくりを応援



共同募金配分金を活用したサロン活動が実施されています。

常吉町ふれあいいきいきサロン



脳トレカルタで、楽しい時間を過ごされました。

問い合わせ先

加西市社会福祉協議会 地域福祉課
(☎43-1281)

～ふれあいいきいきサロンとは?～

「住み慣れた地域でいつまでも元気に」を目指し、地域住民が身近なところで気軽に交流する場です。

- ①内 容：健康チェック、座談会、茶話会、体操、ゲームなど。
- ②効 果：仲間づくり、閉じこもり防止、友だちができて孤立感がなくなったなど。
- ③対 象 者：高齢者、障がい者、子育て中の親など、町内に住まれる方ならどなたでも参加できます。
- ④場 所：各町公民館や集会所、地域の空き家など。
- ⑤運営方法：住民同士が企画し、運営します。
(自治会や民生委員、老人クラブ、ボランティア等)

第5次加西市社協地域福祉推進計画(H25~29年度)の評価(報告)

加西市社協が5ヶ年で取り組んでいる推進計画の平成27年度評価を地域住民の代表として各種団体や公募による評価委員(後藤勇委員長)13名の方々に評価していただきました。

広報誌やホームページ等を活用した社協PRでは、「推進または取り組みが十分にできている」とA評価をしていただきました。総合評価は、「不十分な点も見受けられるが、推進または取り組みができています」とB評価をいただきました。平成28年度は十分であった点を継続していきながら、ご意見いただいた、新たな人材発掘・育成について、団塊の世代や男性層、企業等に協力を求め、推進していきます。

